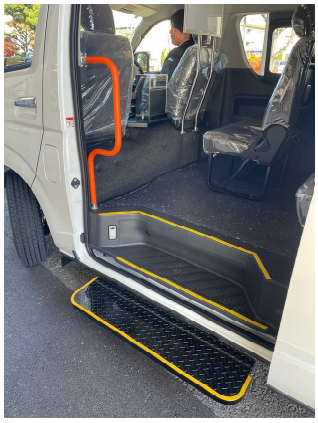
資料5

議題（５）ＡＩオンデマンド交通「のるーと箕面」の実証運行開始について（報告）

◆高齢化が進行し、かつ急勾配の地域等における従来の公共交通ではカバーしきれないニーズなどへの方策を検証するため、AI オンデマンド交通の運行準備を進めてきましたが、令和 6 年 12 月 19 日に「箕面・新稲地域」「粟生間谷・彩都地域」の 2 エリアでの実証運行を開始しましたので、ご報告します。

1　事業概要について

サービス名	AI オンデマンド交通「のるーと箕面」
業務受託者	ネクスト・モビリティ株式会社 （運行事業者：阪急タクシー株式会社、株式会社未来都）
運行期間	令和 6 年 12 月 19 日～令和 8 年 3 月 31 日
運行時間	7:30～19:00（年中無休）
運行エリア	西部：箕面・新稲地域周辺　　（ミーティングポイント 34 箇所） 東部：粟生間谷・彩都地域周辺　（ミーティングポイント 118 箇所）
運行車両	 ・ワンボックス車両（利用定員 8 名）　各エリア 1 台運行 ・乗降ステップ、手すり等を装備
利用運賃	下表参照
予約方法	・専用アプリ　　（24 時間受付） ・コールセンター（7 時～19 時）

	1 回乗車	1 か月定期
大人 （中学生以上）	300 円	5,000 円 家族割：1 名追加ごと 1,000 円
小学生	100 円	2,000 円
未就学児	無料	―
障害者	100 円	2,000 円
介護者	100 円	―

2 関係機関･事業者等との連携について

運行準備段階からの「のるーと箕面」の利便性向上に向けた参画をはじめ、各関係機関や事業者等との連携により､「のるーと箕面」の周知広報や利用促進を実施し、外出機会の創出、地域の活性化等を図る。

（主な連携先）

阪急電鉄株式会社、箕面商工会議所、箕面商店会連合会、箕面 FM まちそだて株式会社、公益財団法人箕面市メイプル文化財団、社会福祉法人箕面市社会福祉協議会、大阪府警察、地元自治会　等

3 周知広報の状況について

市ホームページ、市広報紙、報道提供（新聞記事掲載あり）、実証運行エリアへのリーフレット全戸配布、実証運行エリア内各地域での利用説明会（各地域 2 回ずつ）、みのお FM ラジオ放送、農業祭での PR ブース出店　等

4 評価と今後のスケジュールについて（調整中のもの）

①評価の視点

「実証運行エリアにおける移動ニーズに対応できているか」「公共交通として持続可能か」といった視点で、下記のような評価項目での評価を調整中。

評価項目	評価手法	評価内容例
利用実績	実績値	利用者数、利用者属性
予測収支率	実績値	収支率
	アンケート調査	運賃に対する受容性等
利用者満足度	アンケート調査	認知度、利用評価、今後の利用意向、外出機会の増加等
既存公共交通との共存	アンケート調査	既存公共交通からの代替や相乗効果の有無等

②今後の想定スケジュール

令和 7 年 3 月・4 月頃	中間評価
令和 7 年 11 月・12 月頃	最終評価
令和 8 年 3 月	市議会での予算審議（本格運行に移行する場合）

※中間評価の際、追加施策の必要性についても併せて検討する予定。